

舟道加途志

中

ホ 2
618
2





門 618  
卷 2

平  
末  
杖  
中

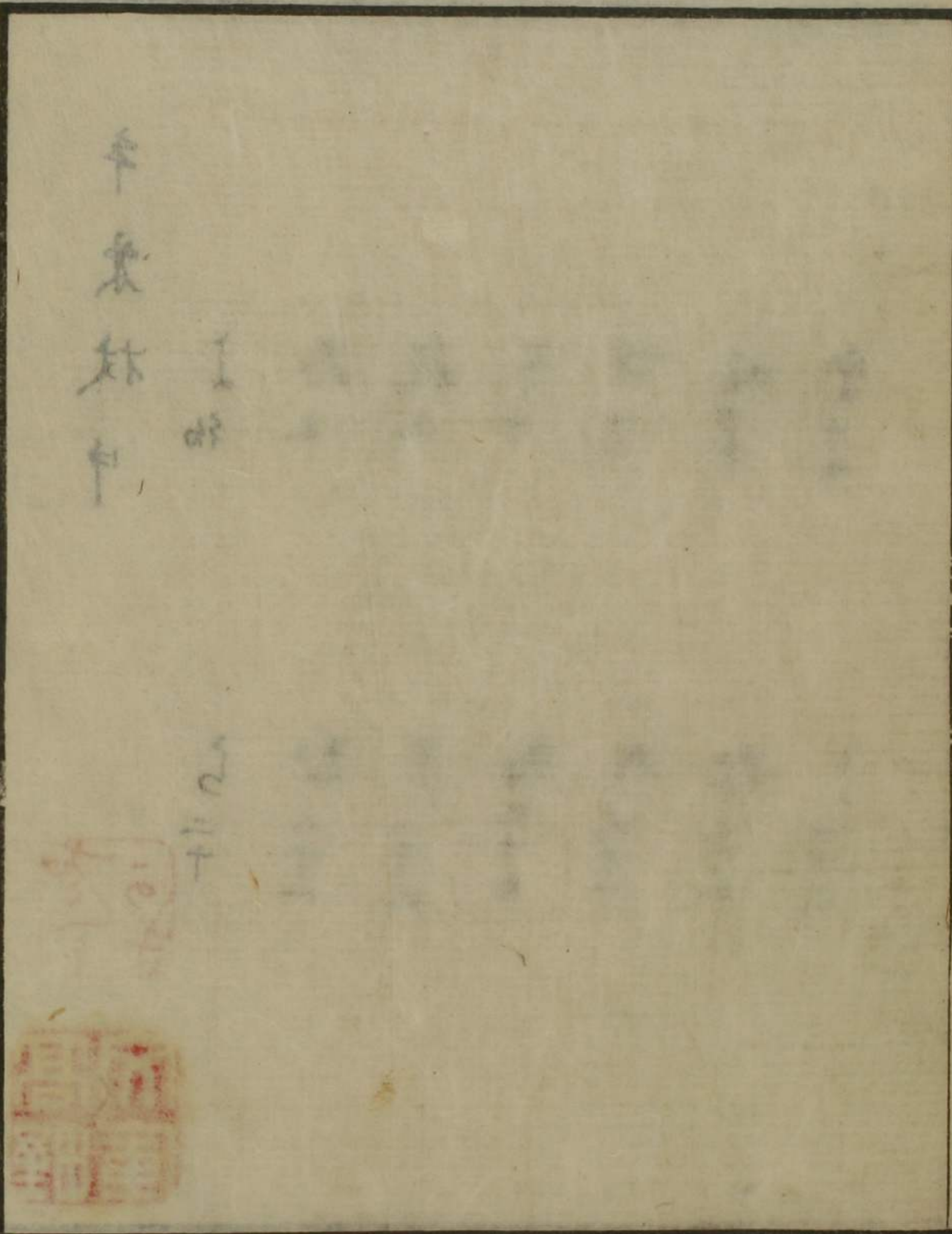
な ね つ そ れ た よ  
十七 十六 十二 十 九 三 初

ら む う ゐ 乃 ね へ  
二十 二十一 二十二 二十九 三十一 三十二 三十三



手





多劫可夏靖中

よ乃劫

二云

ハ よは 古今

夜

夜をさし  
けをなし

ナ

よら

万与作

攀

ヒ

よひ

万与比

夜、霄

夜をさし

三云

ロ よろけ

和与比  
夏

萬

○

よろふ

よろふ  
よろふ

万与比  
布

具

○

よろひ

和与比  
路

襪

甲

ハ

よ

はひ

竟宴  
与波比

齡

○

よばふ

万与比  
布

呼をのび  
いな

手よ

初



○よばひ 古用波 結婚 ○よほろ 交和近江 丁野を

と係乃 丁 とせん ④よきり 禁 節折 ○よきを

ろ 兼清くしつゝをろろろのりて 志字 異よみひのいゝいゝとせん 未考 ⑤よわし 字

膝を於毛 弱 ⑥よそへ 万と曾 倍 寄を延ぶ ○

よそひ 古と曾 儀、装 ○よそぢ 四十 ちよ

⑦よびま 支 婦の 寄く ⑧よら 兼用さ の音

⑨よごぢ 万と寄 除道の 寄く ⑩よみぢ 源

黄泉をよす 割道の寄く

にえ

口 よろほひ 兼 保比とえ 透迤 ○よろこのひ

情 正下部の いとくくといえ ⑪よづゑ 今呼を延 いるり ⑫よそ

ほひ 弘まろお 与曾保比 粧 ○よそほ 兼儀又務の 活解く

⑬よのぬ 源 湖月抄よのつねがぬ ともとえん 不世着の寄り ⑭よらなる

史紙を延 ⑮よらさ 儀と字 左利 夜 ○よらば

多容貌の とも ⑯よあふえ 和と左 布江 横笛 ⑰よ

ひが 徒 呻吟を 禁よのひや 河り の寄よやとえん ⑱よらふ 源 透せ

みえ

口 よろおほひ 伊 紀喜又悦を列り 悦の延く ○よろひ



わ わと比え 佐 **白芷** (ハ) よばひぼし わと比

**流星** (チ) よちをさし わと比 鮫 (ミ) よし

おしる 字と弥還 鮭 (ニ) よし 万若咲

之やハ助辞のそととハ精シカク正ニ日本記ニ妍哉あれよと云々古  
事記ニハあたるやとあれハ古中記ニあれ日本記の之の字ハ助辞ニ日本  
記ニあれハ古事記乃しの字又助辞ニハ正ニあれと云々此のよし  
之やしと云々のこもまも助辞ニハ正ニあれと云々此のよし  
流し 源 夜睡の略 (ヒ) よし 夜睡の略

おと

○ よもひむぎ 古譽母お

た乃効

○ た一 万多 妙 ○ た一 古多 栢 ○

○ た一 今 堪、任 又あ ○ た一 和 多倍 配

○ たわ 拾枝たわ 撓 ○ たわ 古多 報

○ た 古多 頭 鶴 ○ た 古多 正

○ た 万 延 級 (ヒ) た 和 多比 鯛

○ た 万 延 級 (ヒ) た 和 多比 鯛

○ た 万 延 級 (ヒ) た 和 多比 鯛



三三

① たいし 和多伊之 船 ○ たいふ 兼大押 源大吏

日正 ○ たいえん 兼對面の 喜便 ○ たいま 和多伊未 大和

當麻 ② たいはれ 万多波 戲の略 ○ たいぶ

多持を 河 ○ たいく 紀深好を 河 ○ たいよはれ 和

たふ波 國 ○ 丹波 ③ たいと 兼 喻、譬 たいひと美 精れる

④ たいび 和多知比 河内 丹比 ○ たいひ 紀多 遲

比虎杖の 古 ○ たいちめ 古今起居の 兼 ○ たいち 尺

和多知万 國 ○ 但馬 ⑤ たいちり 万多手 手折 理

○ たいちり 万多手折 山と多手折ハ假字ニ西國より山の多 下ををたをといふたはとをといふ

ら 儀 兼田蒿の ⑥ たいわき 万多和英 積 ○ たいと

え ⑦ たいのひ たらげんたふ 古多笑 比 違 ○

たいのふ 字お加恵 喜咲不自勝 ⑧ たいのへ 万多加用 比 違 ○

⑨ たいち 万多々 知 徑路 ○ たいへ 續 稱と河 たいふる

○ たいへ 丈 湛 ⑩ たいね 万多豆 比 尋 ○

たいけき 万田鶴 寸 便 ○ たいち 和多豆 廣 双 芥 入

○ たいけき 万多豆 廣 双 芥 入

○ たいけき 万多豆 廣 双 芥 入







ハ わはぶれ 字多波 戯 ○ わはしき 字

波志 妖 紀麻々を ○ わはあや 万多波 作宅

謔言 ○ わはしれ 字多波 作劇 ○ わ

はれを 万風流士を河内 ○ わはれめ 美之

○ わはまご 又戯業の 略 ハ ○ わはえん 清

たはめくく ○ わは乃ほ 万耕穂 白き

ト わもふみ 万多き きたる ハ ○ わし

一 兼壁 ○ わぢのら 紀田税を

たらさふ 万 立障 ○ たらがを 古多か たり

之緒 ○ わをやめ 和多平 婦人 たもや

○ わをやの 和仙窟 婀娜 河内 ○ わをや

源 たを ○ わをく 兼 たり ハ ○ わ

わらば 万手小童 解 掌 乃 ハ たり ハ

カ わがつひ 字多田加 稲、耕 ○ わの

うな 拾多加無意の 音便 ハ 笋 ○ わのはら 和

波 長 篁 ○ わが魚 和多加用之 相

叔 ○ わかひ たか たり ハ 古 多々加 戦 ○

た ハ たり ハ 行復 立復の ○ わはし 字



た々 傀 ○ たつる 新古 湛 ○ たつよ

たつよたつよひ古多龍用 漂 ○ たつよ万 萬

川少流ハ助舞 ○ たつよ万 万手多 万作の

○ たつ乃和女貞 ○ たつ乃紀 紀乃 紀乃

比歌 田令 ○ たつ乃紀 紀乃 須多 手端 ○ た

らば万 尺橋 尺を ○ たつ乃源 源乃 乃乃

○ たつ乃著 著盗 盗賊の ○ たつ乃情 情乃

るい 多黨 類の ○ たつ乃今 道乃 乃乃

たつ乃菜 菜乃 乃乃 ○ たつ乃和 和乃 乃乃

手巾 ○ たつ乃馬 馬乃 乃乃 ○ たつ乃萬 萬乃

たつ乃万 万乃 乃乃 ○ たつ乃万 万乃 乃乃

波比 貯乃 乃乃 ○ たつ乃万 万乃 乃乃

考乃 乃乃 ○ たつ乃紀 紀乃 乃乃 手乃

○ たつ乃古 古乃 乃乃 ○ たつ乃萬 萬乃

今 福 ○ たつ乃万 万乃 乃乃 ○ た

まの乃 乃乃 玉章 ○ たつ乃万 万乃 乃乃

志乃 乃乃 蕙乃 ○ たつ乃万 万乃 乃乃 魂 ○

たつ乃和 乃乃 玉名 ○ たつ乃万 万乃 乃乃







⑦ たふさやう 丈 細 藻の ⑧ たふさぞなう

万手寸十 解の手 藻 備えと云 非をたふさの古 依 目 記 たる けり  
名相 一 糸の 考 する なる 一 こそ こそ とも なる けり けり  
ん ず けり なる けり  
の なる けり

六云

① たい志やう 名 兼 大 骨 舎の ② たふさばら

かみ 及 薑を 〇 たふさぞなう 保 留 万 多 知 毛 刀 保 留

裨 細 ③ たの 此 あしき 字 乃 加 乃 ④ ⑤

たふさぞなう 古今 棚 機 女 子 保 留

七云

⑥ たふさぞなうのかは 和 多 知 波 素 橘 皮 ⑦ た

かくながし 名 緒の 裡 髪 二 羽 羽 二 見 ⑧ たふさ

しきふね 万 棚 無 小 和 之 柁 を 不 奈 古 那 大 糸 膏 板 一

⑨ たふさぞなう 和 玉 乃 加 乃 冕

八云

⑩ たふさやうたふさ 兼 古 政 大 刀 保 留

九云

⑪ たのむなるうばのか 和 笋 乃 字 釋







ひ 和る比 鶏 ○ そひ 字も比 痛く 瘻 ○ そ

ひ 万籟倍 添、副 ○ そひ 支山田の

傍の

三云

口 そろふ 種 整 常掃と ○ そ

ろお 支の箇々 志字 〇 そはお 聖傍居の

木 そほひ 古今 山田 〇 そ

ほき 字も保ま 脗 〇 そほき 和る保伎 牛馬骸

歴草 〇 カ そかは 和る加波 獲甲 ○ そ

かひ 支 万背向を 〇 十 そわふ 右籟那布 伎

ウ そろひ 菜羹の音 〇 〇 そ乃お 支園箇々

〇 そ乃ふ 万曾能 園圃 ○ そのを 紀 殞 歟

を河サ 〇 〇 そろへ 万曾之 背向方の 〇 〇 そ

志 字も之志 脊旁肉 脗 〇 〇 そひえ 源 常掃を河サ 字も臍を曾

此也加ふと

三云

ハ そばゆる 清 葉、傍得の葉 〇 〇 そほぶら 源

そほひの延々 〇 〇 そへら 多 駢を河サ 副馬



ラ そらむじ 多清を例 ㊦ そらべう 多宗 廟

の音 ㊧ そらいひ 江續飯と見そく ㊨ そら ㊩ そら

かのふ そられんそらなひ 字曾己たふ 波面 ㊪ ㊫ そら

まめ 和名比 未女 鷓 ㊬ ○ そらふし 源侍寢之 於仙窟

横陳を例 よめり

ふ

ハ そはくし 源某之組々敷 ㊭ そなへもの 父

饅を例 ㊮ そらからふ 万天數 考之象量 なりと見え

㊯ そらとやう 象崇敬の 音く ㊰ そらひく

地榆 字そら比久 六云 ㊱

㊲ そほいでんさ 多天齋を ㊳ そとほり

㊴ そでまらやう 清袖

㊵ 衣通姫 ㊶ そでまらやう 清袖

㊷ 元帳にて神をそとて 面をねほりていり

流の部

二云

㊸ 流い 兼射を ㊹ 流は 字豆波 ㊺ ㊻

手 ㊼



法は 出雲風土記

石路

㊦

法

十

又選、此州

とら

㊧

法

平泉

十字の略、法と和の十字者、東西南北相分之道、其中央似十字也、俗用過字、本支

未詳

○

法

禁厨子

㊨

法

万葉集 杖

㊩ 法ひ 和豆比

甲

羸

三

㊪ 法い

で

杖、續連、これの約て、とら、非之續、手い、さか、う、り

○ 法い

築土の略

○ 法い

和豆伊伎

筑城

㊫ 法は

字、波利の支、孕乃始、非之

膝

㊬

法

法、とら、法、とら、法、とら、法、とら

万部行

集

㊭

法

紀部柯倍

仕

○ 法

かひ 法、とら、法、とら、法、とら、法、とら

使遣

○

法

万部我

告を延

○ 法

万部笑 継を

○ 法

万部可 解、比、高のとも、可、有、る

○

法

万部著 審

継合の義

○ 法

和豆笑

都

笑

たひ 法、とら、法、とら、法、とら、法、とら

○ 法

万部多 傳

㊮

法

古お豆

鼓

○

法

万部々

葛

今葛、法、とら、法、とら、法、とら、法、とら

字、例の略

○ 法

紀豆々

續

○

法

字、豆々

福、綴

○

法

和豆々、分

淋

○ 法

字、豆々

繁、躑

躑

○ 法



を 丈筒尾を筒 ① 洗むじ 和名 廻毛

旋毛 ② 洗く 和名 机 ③ 洗ふ

和名布 鷄子 ④ 洗ぶ 今 癩 字、癩寄

⑤ 洗ひ 字、癩を夏比 費 ⑥ 洗ひ 史、築土

洗つて洗ひ ⑦ 洗ひ 古名 遂、終

に云

① 洗いたら 朔 月立の蚤 ② 洗いか

夏伊 棍持 ③ 洗いは 和名 啄 ④

洗いま 伊 ⑤ 洗いた 正衝

⑥ 洗いか 和名 築藩 ⑦ 洗

は 和名 ⑧ 洗ち 和名

魚腹下 ⑨ 洗ち 土の ⑩

洗 字 ⑪ 洗か 万

遣 ⑫ 洗の 古今 ⑬

⑭ 洗 字 ⑮

約 ⑯ 洗ら 古今 ⑰ 洗が

⑱ 洗 字 ⑲ 洗く

⑳ 洗 字



まどろひ 万孀同向の事 ○ 洗まひり 和夏万  
ニまどおせり

牛病 蹄躡 ○ 洗まひり 字夏万 躡  
夏久 躡

⑦ 洗まひり 和夏布 躡 ⑧ 洗まひり 和夏万  
之

洗まひり 紀後を 躡 ⑨ 洗まひり 和夏万  
まひり 躡

ひ 字夏万 躡 ⑩ 洗まひり 和夏万  
依比 躡

五

① 洗まひり 禁衝重い ② 洗まひり 和夏万  
さ通り

阿井 木藍 ③ 洗まひり 和夏万 加  
用流

帳幕 ○ 洗まひり 和夏万 加  
良比

洗ぬきさそふ 万如奴婆播符考、  
枕 洗ぬハ羅くともん

父番長を ④ 洗まひり 清免月抄、葛折と云  
又九折と云けり

○ 洗まひり 噫の如く ⑤ 洗まひり 夏氷ぬ  
てな

とらふて ⑥ 洗まひり 字夏万自 ⑦ 洗  
加是

とらふて ⑧ 洗まひり 源凡  
注

⑨ 洗まひり 源字之旅を弓波自之と云  
又東鑑之彈指を河り

⑩ 洗まひり 和夏伎之 ⑪ 洗まひり 獸角觸物  
之

⑫ 洗まひり 和夏女乃 ⑬ 洗まひり 万杖不  
右布

⑭ 洗まひり 和夏比乃 角蓋



六云

① 洗いひぢり和豆伊比 諭 ② 洗はらひ和豆伊比

ら和豆波毛 庫 ③ 洗乃之良みかけら和豆之良 疏加波良

尾 ④ 洗乃之良がのひ和豆之良 容作比々刀 兎 ⑤

洗ふら源は源し源く源 招源る源を源也源

七云

○ 洗和豆之良が和豆之良みの和豆之良い和豆之良ひ和豆之良れ和豆之良 白英伊比祿

祿の部

二云

○ 祿和豆比ひ和豆比 婦和豆比 負和豆比

三云

⑥ 祿源ぢ源け源 祿源の源ひ源 祿源の源ひ源

⑦ 祿源ら源ひ源 祿源ら源ひ源 祿源ら源ひ源 万源 祿源

比 粗 紀源 練源を源 祿源 河源 乃源 比源 也源 ⑧ 祿源ら源ひ源 源源 榮源 二源 年源 三源 十源 五源 九源 月源 六源 齋源

日源を源云源 ⑨ 祿源ら源ひ源 和源 祿源 須源 篇源

四云



⑤ 福くまふ 大如を延より  
⑥ 福ねびれ 源和

の如くこれハえ通ひくおひえく  
お知えつねのふまおあのみ  
⑦ 福あはせ 後拾 根鬨

⑧ 福ごころふ おもろそんおもろひ 記懸牙を  
おもろそんおもろひ

又云

⑨ 福ぢげびや 万倭人を河の村に捨られ人を  
⑩ 福

かばくハ 新古 新古を延より  
けの約ふ

又云

○ 福なにかげら 久菟屋を  
河の

七云

○ 福びみちらのき 和孫須英毛  
知乃支 棟

かの約

二云

⑪ なが 和奈波 繩 ⑫ ながほ 和福重を 直  
伊奈保

○ ながほ 万奈保 橋 ⑬ ながへ 万奈保 苗 ○

なへ 和 寢を延  
ふ雨と見え ○ ながへ 万寢を延  
いなを

万並を河の  
へめ通り ⑭ ながひ 和撫河を  
ふ知か波と見え 撫 ⑮ なが

盛福の  
まへ ⑯ ながみ 紀奈保 地震 ⑰ ながふ ながみ  
ながみ



なぐるま

索

⑤

なぐん

なぐん

萎

三三

⑧ なはてし

和名八天田間通く

⑨

なはてへ

丈繩地の略況く

○ なはたの

多 緩昆布を

⑩ なるは

古那逆波 難

波 ⑪ なほし

源 並衣を河り和、襦袢と赤保之能古呂毛と見今なほしとのいふ六知河の略りたる

○ なほめ

和名保里 豊後

⑫ せ入

⑬ なへ

久 ⑭ 塞

⑮ なをり

盛 気折の 義く

⑯

なりのち

万ふ可 紀の仲子を

○ なのえ

和名加衣 車具

⑰ 轆

⑱

なぞへ

古今万の 名 蘆 経

⑲ 准

なぞへの 略況く

⑳

なほむ

古

那豆 年

煩

○ ながり

万名付

㉑

○

ながる

古今撫そ二ま かせり

○ ながり

和名度 岐

⑳ 脳

○

な

川乳 和名度 糸

⑳ 薺

㉒

なごり

なごり 源習を

河内成合の 糸

○ ながり

和名度 岐 渡

㉓ 成相

㉔

なむぢ 紀大宛年 大宛と

㉕ 汝

⑳ ながり

鯨

○

なまゐ

和名万 為

㉖ 澤瀉

和名俗 田鳥子と云 是をこまめと云ふ

沢瀉を田鳥子と云ふ下れ鳥芋のこをわれハ云ふものもたのひく 淫れすの佐かやあふるをわめをこまめと云ふ

沢瀉を煮て云ふのあれと和名の 云ふこれあまのやい

㉗ やごり

何と云ふ 又云ふ

とら

㉘ ながり

和名 輕を治

㉙

ながり



字系氣 苗 浩同 ○ なじむ 馴燥の義

にえ

① なのいのみま 及難燥を ② なのはしる 万葉波 苗

代 ○ なのは乃み 万繩法 繩墨のまこと ③ なのは

しむ 和系波依波 魚 ④ なのはせこ 和系波 世系

焯不能 焯者 炸焯 ⑤ なのはらみ 三世相 世舎

○ なのはぢり 等閑を 葉のふ家治の注尋常と云ふ

れせの世系流古とて世系とらふも理りの通なれども世系は世系なりと云ふは 極の世系人をとらふも一河れの世系はたのまこととて世系と云ふのの約は せん又字の世系はたのまことと注せれは尋常又 平生も世系をとりなすも世系なりと云ふは

業 けひの詳を ⑥ なのはた 万葉流 不ら

⑦ なのいらみ 葉中をとりらみと ⑧ なのらへ 万

倍 念あふも ⑨ なのらへ 万流相流を更なりと

⑩ なのらへ 源字の踏を布衣系を依布と云 ⑪ なの

らなひ 萬葉を更 ⑫ なのらへ 紀地震を

ななげし 倭名細細ハ ⑬ なのらへ 源難逐

⑭ なのらへ 万香細と云 ⑮ なのらへ 源

⑯ なのらへ 万葉麻 ⑰ なのらへ 著綱史の

⑱ なのらへ 万葉加敷を更 ⑲ なのらへ 久地 ⑳ なのらへ



字未頭名布

准

五云

① ないごしる 蔑 代しとえ ② ながし たふ

後撰 名を頂て ③ ながのび おまかま 豹 か

○ ながのころふ 万流経 寝衣の長 ④ ながひ さ

ふ 糸ふおのり ⑤ ながの おま ⑥ なが おま

歴る ○ ながま え乃き ⑦ なが おま ⑧ なが おま

免ね おま ⑨ なが おま ⑩ なが おま

之 靡 命の ○ なが ひらけ ⑪ なが おま

六云

① ないけ うば ② なが おま

③ なが おま ④ なが おま

七云

① ない おま ② なが おま

③ なが おま ④ なが おま

八云

○ なが おま ⑤ なが おま

十一云



○ なか乃そのまうははのさ 和未加乃毛乃万  
字須夏加佐  
中綱云

らの効

二云

○ らう 兼廊の  
音く

三云 四云

ウ らうたけ

源湖月抄、芳名等のこととてはけり  
校のこことと名兼、膳長の弟とてりま  
似字のひと膳と兼、  
兼蓋切入まるとれま

○ らうあん 兼縁圍の  
音く

○ らうせき 盛狼籍の  
音く ○ らうざん 兼老人の  
音く ○ らう 盛

郎等の 音く ○ らうざん 兼老人の  
音く ○ らう

よん 兼  
音く 宰人の ○ らうそく 延  
音く 幡燭

なまめ

む乃効

二云 三云

カ むのひ むのはんむふ古年加  
むのへるま 向 ○ むの

ひ 活  
音く 迎 ○ むびき まいな  
音く



むのきいんえん 志字 ○むのじ 今やうく年  
弓此のいんえん 未考 時五むのじ

くたゝ 志字 ○むらじ 紀連を河内姓氏  
ときとらん 未考 縁河一又名年

良自見 群 ○むくい 字年久伊 報 むく  
良の美といひ むくゆるも

むえふふい ○や むやひ 変やひ自もの 報 む  
いふえん 三えおせり

じな 和年志 格

にえ

口 むろけみ 紀館を河内某の 室積の美と見 ○ち むちけ  
和字 館 ○か むのひえん 字年加 比来 嫡 ○

むのけを 万向峯を 河内 ○むかひき 字年  
加

夏支 蔭 ○むかばき 源榮之報の美と見 向厚の略決の

ツ むけまじ 後撰 睦 むけ親睦と 十 むかの

ひ 字年志 加比 執 ○むらなへ 万年良 群苗の 志倍 義と

○むらじ 紀夫人を河内某の 群刀自の美と見 ○むら

ふ 万年久 良布 篠生 ② むしろひ 字年志 呂比

樹 ○むしろる 和年志 呂井 藿 ○む

くひ 夏 藪 倉ハクノ 二とせり

又え

カ むのひばら 源 湖月抄之當後と見 嫡殿の美と ③ むの



和無豆放 駢拇 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

和年久分 穰 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

和無破須 久比 筑籬

和無破須 久比 筑籬

乃 ㊦

二 ㊦

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

治 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



後丈 ○ うはよ 万表荷 上荷 ○ うは

○ うはさ 年 吟 様表の

○ うばひ 万有婆

奪 ○ うばら 和 茨城を字 波良波とえ 新、淡

○ うはぐ 和 波土 表門 十 うちは和

波 今 知 團扇 ① うりふ 丈 此 生の ② う

る ① 拾 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

う ち ひ 歌、謡 ○ うら

和 刑 罰 を 字 多 倍 併 ① うら

知 今 知 税 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

川 急 公 甲 杖 杖 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

う け ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけち 江 卯 極 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけお 空 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけお 鷄 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけお 頂 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけお 夫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

○ うけお 夫 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



まゝ 紀于麻 可美 ○ うまる 原 産生

○ うまや 万字万 夜 厩 ○ うけひ 古字 兔

比 誓、祈 ② うしほ 紀于之 襖 潮 ⑤

うゑめ 夫 延女 子 田 ④ うけひ 和字 須比 上野

碓氷

比 玄

① うはぢ 保表指 ③ うはし 貴和

字 波之 支 禱 ○ うはかひ 字 字 波加比 夜、前 社

○ うはなみ 丈上浪の ④ うけなり 和字 波

宗 後妻 ① うら 万字 用 表裏 ○

うべなひ ② うら 紀 自 服 ④ 子

ちのへ 万内 重 肉、方 ○ うちは 菅 打 蠟 打

の 義 ○ うちはえ 丈 打 映 ⑤ うちふ 箭 映 の 影

乃 和字 利 布 乃 向 所 野 ○ うちは 和字 利 波 用

守 所 ⑥ うるほ 字 字 苗 潤 ○ うるほ

ひ ⑦ うるほ ⑧ うるほ ⑨ うるほ

字 流 美 ○ うるひ 和字 苗 比 厚 濕 津

カ ⑩ うかぶ ⑪ うかぶ ⑫ うかぶ ⑬ うかぶ ⑭ うかぶ ⑮ うかぶ ⑯ うかぶ ⑰ うかぶ ⑱ うかぶ ⑲ うかぶ ⑳ うかぶ ㉑ うかぶ ㉒ うかぶ ㉓ うかぶ ㉔ うかぶ ㉕ うかぶ ㉖ うかぶ ㉗ うかぶ ㉘ うかぶ ㉙ うかぶ ㉚ うかぶ ㉛ うかぶ ㉜ うかぶ ㉝ うかぶ ㉞ うかぶ ㉟ うかぶ ㊱ うかぶ ㊲ うかぶ ㊳ うかぶ ㊴ うかぶ ㊵ うかぶ ㊶ うかぶ ㊷ うかぶ ㊸ うかぶ ㊹ うかぶ ㊺ うかぶ ㊻ うかぶ ㊼ うかぶ ㊽ うかぶ ㊾ うかぶ ㊿ うかぶ



② くらがひ くらがひ 疑 ③ くらひ くらひ

くらげん くらげん 万字抄 核 くらげんの ④ くらひ くらひ 後撰

埋火 埋火 ⑤ くらひ くらひ 万虚本綿 くらひ ⑥ くらひ くらひ

くらひ くらひ ⑦ くらひ くらひ 万打妙 くらひ ⑧ くらひ くらひ

なひ なひ ⑨ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 室

⑩ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ⑪ くらひ くらひ

⑫ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ⑬ くらひ くらひ

⑭ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ⑮ くらひ くらひ

⑯ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ⑰ くらひ くらひ

⑱ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ⑲ くらひ くらひ

⑳ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉑ くらひ くらひ

㉒ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉓ くらひ くらひ

㉔ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉕ くらひ くらひ

㉖ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉗ くらひ くらひ

㉘ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉙ くらひ くらひ

㉚ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉛ くらひ くらひ

㉜ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉝ くらひ くらひ

㉞ くらひ くらひ 和字夏 くらひ 埋 ㉟ くらひ くらひ



又と

ハ へはちまのり 催梁塵思案抄 ○ へはねまひ

字字波粒 宇波右万利 酒賣女とてえ 〇 へは乃らら 金 への元とて石

一 へへのまね 和字倍乃 波奴 袍 ④ へちあは

せ 和字初所 波世 腿股 ② へるおけ 紀洞月を 河

① カ へかねらひ 万字加経良比 粗経のえとておせり 寝祖 ⑤ へ

ちあはせ 兼歌合とて合 へのえとておせり ③ へげ乃らら 万字 頭

乃御 字頭長綿とて 嚴くねらり 〇 へげ乃らら 万字 頭

嚴くねらり 又とておせり 〇 へげは

その 和字毛器を須恵字 波毛乃とて 器 〇 へげまふ 蹲

河 材古々字須受麻里とて 強字とて 河

こはしとてなる非く 又とておせり 〇 へげは

乃 又とておせり 〇 へげは

〇 へげは

浦佐佐而の浦ハ 又とておせり

〇 へげは

〇 へげは



みまをほせしきれいさきいさかひしなをりれのうもりしきり  
極もとりれいさきいさかひしなをりれのうもりしきり  
こころかかれし縁のみまを記せしきりしなをりれのうもりしきり  
かゝるものたるは類ひいさかひしなをりれのうもりしきり

うらうらけー 万々羅塵 浦細き子 ① うらうら

もの 枕 万馬自物 鹿自物の ② うまごころー 和

うまごころー ③ うまごころー 和

牛夢 ④ うげひがり 古々き比 ⑤ 和

⑥ うおかのなる 紀集を河内儀或懐の考集也 ⑦ 和

うえふせり 和々衣布 ⑧ 瘼卧 ⑨ うそわなは

万字草 字の草を ⑩ うそごまり 古々自 ⑪ 和

和々浮高の在の ⑫ うそごまり 枕 万續麻成

⑬ うはえんをうな 史記の嫉妬をうはかり又和々河

梁塵五案おのの海童女をうはかり又和々河

すねのれはかえ思はずともの ⑭ うはくらくらむ

般草 ⑮ うはくらくらむ 和々波良 ⑯ 和

⑰ うなひをうえん 万菟名日 解の菟名日 ⑱ 和

むさせのひ 和々木乃 海蛤 ⑲ 和

たよはる 續承を河内受給の ⑳ 和

⑳ 和



牛乃比  
石龍芮

七云

① うまれくほかひ 和字方乃久  
保加比 紫貝 ④ うび

たひ乃うま 和字比也乃  
字麻 戴星馬 ⑤ うんれた

乃のひ 史 白のむ糟くそふ穀の  
神を象するといふなり

八云

⑥ うまひ乃はのき 和字多未比乃  
夏加佐 雅樂寮 ⑦

うぐひ乃いひ絲 和字比須乃  
以此絲 木之 恒山

九云 十云

⑧ うたたがひはのち 和字多倍多々  
須加佐 刑部省

⑨ うちれがはで乃はのき 和字知乃加之  
波天乃官 門膳司

⑩ うまらひをやせふかぬ 紀于魔界依鳥野  
飛南屢柯依 美飲

喫哉

ゐの初 井 猪 獸 菌 草 居  
た何れも女の御字也

二云

① ゐい 和字伊  
き江 渭伊 ② ゐる 和字流  
紅着沙不從之 艘

手 ぬ



○ ゐる万 居 (木) ゐぬ 古韋匠新 率寝の

○ ゐで 万井挽解、堰苗 (土) ゐし 園司の

○ ゐのひ 紀猪養を (河) ゐかさ 多箇帽を (文)

○ ゐけ 系居長の (伊) ゐびく 伊井筒 (十) ゐ

○ ゐの 万居中 田舎 (和) ゐなる 和為系信 員辨

○ ゐ乃出 紀偉能 豚 (杖) ゐ急の ことを擧ぐ 住 犬子 和 猪

○ ゐ乃出 紀偉能 豚 (尾) ゐ急の ことを擧ぐ 住 犬子 和 猪

○ ゐ乃出 紀偉能 豚 (尾) ゐ急の ことを擧ぐ 住 犬子 和 猪

○ ゐ乃出 紀偉能 豚 (尾) ゐ急の ことを擧ぐ 住 犬子 和 猪

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

○ ゐ乃へ 和為乃信 井旅 (漢) ゐのへ 和為乃信 井門

率寝の

園司の

多箇帽を

和為系信

員辨

和為乃信

古章

和

和

和

和

和

堰棟

為佐利

未底

比 堰楸

○ ゐ乃へ

○ ゐのへ

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

○ ゐ乃出

字為毛利

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐざり

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき

○ ゐせき



① 乃乃あし 和為乃阿之 織襪 ② 乃乃ゆき

伊率而往とて二云  
の乃乃のあし ③ 乃乃らひ 和為乃佐 臀

④ 乃乃まひ 清居位とて位  
をのまひ

又云

⑤ 乃乃あまめ 和為乃古  
朱系 阿字豆 ⑥ 乃乃え

もん 乃乃偉 監門  
禁門 ⑦ 乃乃ゆわ 和為乃久  
豆和

牛膝 ○ 乃乃ふぢり 和為乃布  
久里 豚卵 ○

乃乃ゆき 和為乃力  
々々 猪舂 ○ 乃乃あまめ

まぎの形とて  
いふ ⑧ 乃乃ら月 万座待 十八夜を  
月

⑨ 乃乃あし 和為乃佐  
乃江農具 朱骨

⑩ 乃乃あし 七云

○ 乃乃あし 大井手乃下帯  
大和物知出

乃乃あし

三云

⑪ 乃乃あし 源呪咀之  
材との八折の略るひ八折とて  
八折なり  
六六の略るひとて八折の延とて

⑫ 乃乃あし 接撰  
延とて ⑬ 乃乃あし 和乃和  
支 暴

風 ⑭ 乃乃あし 紀  
草ノ科 ○ 乃乃あし







① 於い 古游伊 老 ② 於ば 和於波 祖母 杖

母の略 ③ 於尔 和於尔 ④ 隱音之批之 鬼 ⑤ 於

ほ 古意富 大 ○ 於ほ 万於保 凡を 乙 ⑥ 於

万於登 音 ○ 於 和乙訓を 乙 ⑦ 於

古游知 ⑧ 於 字於比 祖又 杖之太又 ○

於 字於夏 意、忙怕 ⑨ 於 紀於瑠 織

⑩ 於 古意礼 已 和のれの略 ⑪ 於 和於

お 古今有化 置 ○ 於 万

意久 奥 ⑫ 於 紀於夜 親 ⑬ 於 和

於不 貝 白貝 ○ 於 字於布 佩 ○ 於

和於布 之 ⑭ 於 紀於已 起 ○

於 万於波 瀧、沖、澳 ○ 於 万於喜

息 ○ 於 和於波 ⑮ 於 古於 辰、

使主 ⑯ 於 紀於斯 押 著 ⑰ 於 古於

於 和於之 ⑱ 於 和於海を 忍 ○

於 和於比 ⑲ 於 万於比 負 ○

於 和於比 帶 ○ 於 和於比

⑳ 於 万於比 生 ㉑ 於 紀於母 母



○ ねも 万能毛面

三三

① ねい

于又能を河の  
置而の

② ねろけ

紀美竟を河の  
邊の

○ ねろ

和御鞍を之良  
能呂須

御下

○ ねろ

万下風を河の

○ ねろの 万能呂可

愚

③ ねば

和能八本  
万能芽子

薺蒿

今よめを  
又よめを

④ ねよ

⑤ ね

和能小住人及牛馬を死者  
比 血所化也 鬼火也

燐

⑥ ねほ

和能保加

能系取

修車

○ ねほち

和能保知

祖又

ねほ

和能保為  
官名

大炊

○ ねほ

万能

保

多

○ ねほ

おほいとおほい  
おほくとも

和能保比

覆

ねほ

榮之所思の  
榮成したる

○ ねほ

和能保和

輜

○ ねほ

和能保平  
鷹具

條

○ ねほ

記能保

大御

今御をのり  
おむるを御の物

○ ねほ

字能布皮

債

命

○ ねほ

古能富泥  
大根

○ ねほ

○ ねほ

○ ねほ

和能保

莞

○ ねほ

和能保比  
聖草

○ ねほ

○ ねほ

ほ

和能保

○ ねほ

後拾常藤膠を河の  
月又清なる

そり覆徳の  
美しき

○ ねほ

濁を河の  
葉大ほれる

○ ねほ

和能保久  
佐前

邑久

①

ねほ

万能日







字於曾 恐、懼 ⑩ 於か<sup>ハ</sup> 万於宗自 同

⑤ 於らび 万於良叫 ⑥ 於むぞ 伊御衣の

① 於乃れ 万於能 已 古今自死<sup>ト</sup> ④ 於く<sup>ハ</sup>の 万奥

か<sup>ハ</sup>得<sup>ル</sup>在<sup>リ</sup>の ⑦ 於くる 万於久 送、強 ○ 於

く<sup>テ</sup> 和於久 晚縮 ○ 於くれ 万於久れ 後

② 於ま<sup>ハ</sup> 采御座の ⑧ 於ある 万於布 生

○ 於ふ<sup>ハ</sup> 紀首を<sup>ハ</sup> ⑨ 於ふ<sup>ハ</sup> 和於布須 雜氣<sup>ニ</sup>

拍浮 ○ 於ふ<sup>ハ</sup> 字於不<sup>ハ</sup> 痛啞 ○ 於ふ<sup>ハ</sup>

丈か<sup>ハ</sup>皇の於<sup>ハ</sup> ⑪ 於ふ<sup>ハ</sup> 和於

石見 邑員 ⑫ 於あせ 万於己勢 遣 ○ 於

於<sup>ハ</sup> 万於己 起、興、發 ○ 於あ<sup>ハ</sup> 奥奈の

⑭ 於さ<sup>ハ</sup> 万於佐 押 押支の ○ 於さ<sup>ハ</sup> 和於佐

大和 忍坂 ⑮ 於さ<sup>ハ</sup> 和於支 翁 ○ 於さ<sup>ハ</sup> 采

於<sup>ハ</sup> 行定 ⑯ 於さ<sup>ハ</sup> 万於藝 仲<sup>ハ</sup> 助<sup>ハ</sup>

於<sup>ハ</sup> 万於佐 仲<sup>ハ</sup> 助<sup>ハ</sup> ⑰ 於さ<sup>ハ</sup> 万於

万於伎 除 ○ 於さ<sup>ハ</sup> 字於支 熾 ○ 於さ<sup>ハ</sup>

⑲ 和於伎 息津 ⑳ 於あ<sup>ハ</sup> 保 醜輝の

この約 ㉑ 於<sup>ハ</sup> 福 支 遲縮の約<sup>ハ</sup> ○ 於<sup>ハ</sup>



て 禁 璽を引り 押手はきこ

⑦ ねびえ 字於比 愕然

⑧ ねとて 紀於謀提 面、表 ○ ねとー

和權衡を波加 重 ○ ねも乃 御饗の略語又をの食物の略語すまふ

○ ねもや 兼御洋く替へ 女子をそとえ

○ ねもな 源面無の 略語

○ ねもや 兼

⑨ ねせま 紀 兼見を引り源、ねせま

⑩ ねすー 浩於須 強女 ○ ねすひ 古

意須 万押日とよきく同し 此 袈衣の義

にえ

⑪ ねいかけ 和於伊加計 先繁と 倭 ○ ねいらく 古今

先楽の 義と ○ ねいらの 源 兼先らり の義ととえ

いぞけ 源 兼先殺の 義ととえ ○ ねいたみ 和於伊 古 頁

お羽 置場 ⑫ ねろろの 字於居 跡

⑬ ねばしま 字於波 檻 ○ ねばせま 字於 波

流勢 佩 ○ ねばら貴 和於波良伎 邑樂

⑭ ねほろろ 字於保 太虚 ○ ねほゆ







利刀 鶴 ○ 杉ほわ和於保 ○ 杉ほれ

源葉之葉の物 ○ 杉ほぢ和於保 鵬 ○ 杉ほれ

杉ほひ字於保 榛 ○ 杉ほふ和於保 箸竹 ○

黄精 ○ 杉ほだ和於保 食菜萁 ○ 杉

ほむ和於保 車前 ○ 杉ほ和於保 食菜萁 ○ 杉

茶 ○ 杉ほび和於保 大蒜 ○ 杉ほふ

ら和於保 雞 ○ 杉ほせ和於保 尚歸

○ 杉ほふ和於保 狼 ○ 杉ほ和於保

糜 ○ 杉ほ和於保 蟹大足 ○ 杉ほ

川和於保 虎子 ○ 杉ほ和於保

○ 杉ほ和於保 年大様の葉 ○ 杉ほ

む和於保 大神 ○ 杉ほ和於保

老上 ○ 杉ほ和於保 大曾 ○ 杉ほ

○ 杉ほ和於保 大分 ○ 杉ほ和於保 大

忍和於保 喧響 ○ 杉ほ和於保

○ 杉ほ和於保 牙 ○

○ 杉ほ和於保 妹婿 ○ 杉ほ和於保

○ 杉ほ和於保 音信 ○ 杉







ひ 和於之 紀於虚行 ○ 和於たあり 徒 起

○ 和於乃あり 和於朝菜 海菜

○ 和於のー 和於依 加倍

伊勢 刑部 ○ 和於乃あり 字於支 召利 餘 ○ 和

穿ぬひ 字於支 綴 今あまたのひと又補のそと ○ 和

さむー 多 蹴踏を ○ 和めむー 字於 中 脚

○ 和於のそと 万臣本 紀 母本今 ○ 和 今 押並の

○ 和 古今 押並の

和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

ひ 和於之 加波 鞆 ○ 和 和於之 忍海

和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海

○ 和 和於之 忍海







掌 ○ ねほろばら 和於係令 菘葵 ○ ね

ほやぶら 多 注芝類 赤箭 ○ ねほろばら 和於係令

大羅 ① ね 令墮の ○ ねむす

め 催於止年 春女 才女 才某姫 ○ およひぬき 和於此 猶

② ね 古於る更 良比 押觸の定 ○ おとかななる

新邊 流 ○ おとこ 和於る彼 駕馬 ③ ねむ

や 兼陰陽師の 河例 ④ ね乃 和於る彼 自材已隨

○ ね乃のぞ 万各寺 解自 ⑤ ね 解自 のな

万奥香 無 解之行未ふ知 ⑥ ね 今奥の志れぬ ⑦ ね 和於る彼

丈 義 ○ ね 平系 遊物射 ○ ね

あ 和於布之安万 母後 凡海 ⑧ ね 和於る彼

粗 於古之 古系 注以蜜和系 煎作之 ⑨ ね 和於る彼

○ ね 和於る彼 ⑩ ね 和於る彼

○ ね 和於る彼 ⑪ ね 和於る彼

通草 ⑫ ね 和於る彼 ⑬ ね 和於る彼

○ ね 和於る彼 ⑭ ね 和於る彼

○ ね 和於る彼 ⑮ ね 和於る彼

○ ね 和於る彼 ⑯ ね 和於る彼



和於此不  
久呂

勝

○ 和ひひるがふ

源生次を  
迎ふ

○ 和も

○ 和も

志ろる夢

万於女之  
樓松

○ 和ひひるがふ

遊仙窟風流  
をいへり

○ 和も

○ 和も

かげり

後拾面愛の  
多し

○ 和もよわ

字於毛与  
和之

勝

○ 和もや

令面割の  
多し

○ 和も

○ 和も

でる

字於毛係  
互苗

○ 和も

記、愠色又念然又  
作色を河

○ 和も

○ 和も

免んご

和於須賣  
度里

○ 和も

六云

① 和いさ

源老癡の  
多し

○ 和も

字於  
余

乃也加良  
草く

續斷

○ 和も

万於保朱  
無

鬱悒

○ 和ほむた

記百姓又黎庶  
を河

○ 和も

のふ字を用ゆれと云ふハ大御もてまむむ  
をいへり

○ 和も

あか

和於保良  
河加之

○ 和も

字於保良  
多し

○ 和も

○ 和ほむ

字於保良  
多し

○ 和も

○ 和も

ほむる

和於保良  
久依

○ 和も

○ 和も

かき

和於里保良  
官名

○ 和も

○ 和も

万延言記  
妖偽を河

②

和も

和於字  
以苗

○ 和も

○ 和も

和於字  
草く

○ 和も

○ 和も

乃也加良  
古微能基  
呂信

○ 和も

○ 和も

○ 和も

○ 和も



どろろ 大御座所  
の養々

ワ 杉ふか

伊志字本ニ  
隨分を河守

キ 杉葉川ふのえ

万於松津 瀧津深江  
布加延 つハ助輝々

○ 杉

さかすのは 万於吉奈我々波

息長河

之 杉

しでれふ々

記符と  
河守

○ 杉一あけがら

支  
押

方々押ハ  
輝々

モ 杉もげくくそ

和於毛波々之曾  
面是より

黠

○ 杉もくく

兼 重々敷々

七々

ホ 杉ほ杉ほぢぢぢ

和於保於保知年知  
多々又足々

族又 ○ 杉ほ

お乃はのせし 和於保為乃  
夏加依

大炊寮

○ 杉ほもろじぶろ

り 浩大装衣の  
略強々

○ 杉ほのほのひ

延於保吃能  
保加比 大

殿祭 ○ 杉ほえひがびら

多 山蒲桃を  
河守

○ 杉

りおれふかぢ 兼 下位帝  
右上げて皇を称なる

ハ 八々

ホ 杉ほいまうちぢぢ

和於保伊未了  
知彼員 大后 ○ 杉

ほいおほもひ 和於保伊於保  
刀毛比

大辨

中辨を  
少辨を須奈伊

九々

ホ 杉ほまほぢぢぢ

和於保万豆利  
古刀比刀

参儀 ○ 杉

杉もぢぢぢ

和於毛刀比刀  
万知彼員

侍従



十云

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

○ 於保伊与夏乃久良井乃 正四位上

これ部

二云

① くい 万久伊 悔 ② け 和久波 秋 ○

③ け 和久波 桑 ○ け 和久波 桑 ○

④ け 和久波 須利之助と云 肩 ⑤ け 和久波 肩 ○

⑥ け 和久波 咀、咋、喰 ⑦ け 和久波 咀、咋、喰

崩 ⑧ け 和久波 崩 ⑨ け 和久波 崩

永享年中、石清水社、御籠のよ 紀俱織 就建

手々



古、蹶を列り今  
細めてけものさし

⑤ くひ 古久比 杙 ○ くひ

和久比 牛馬病

⑥ くび 古 國栖 ○ く

比 和久須 葛

三三

⑧ くは ① 葉 加 枅こまれをみ口に  
くはるまも 加 するより中に見 ○ くは

古久波志 細 寄委積を ○ くはひ 古具波 嬌 昨今  
万 比 の

よりのゆり 〇 くはぶ 万桑子 蠶 ○ くはせ 拾遺  
とさす

令喰の 〇 くはな 字久波奈 淫羊藿 ○ く  
略 〇

は 和久波倍 筑前 黎 饗 ④ くらら 古久治良 鯨  
大魚

② くるひ くるはんくふ 万久流 比 狂 ○ くる

和久留倍 伊勢 刈 覆 ⑦ くらわぬ 和久和 烏 芋

③ くらわ 和久和 纏 ○ くらひる 字久多 崩

④ くらぬ 和久良 位 ○ くらふ くらげん くらひ

字久良 喰 ⑧ くらび 和久々比 鶴

⑨ くらや 采佐養の 音く ⑩ くらもち 紀 鉅磨 壑

限 ○ くらまわ 万限回を ⑪ くらじ 和久

利 解結者へ 觸 ○ くらじく 字久自久 折曲へ 觸 ○ くら

⑫ くらか 和久之 摩 ⑬ くらひせ 字久比 是 柘



○ くひぢら 和久比加 取獸械 踪 ○ くひかな 和久比

○ 轟鳥 漢語抄云 水鷄 ○ くひび 字久比井 莛

○ くもゐ 万雲居 雲

巴云

○ くろたひ 和久比 古比 雀魚 ○ くろ川 伊拾

○ 黒塚 陸奥 ○ くろば 菜黒方 ○ くは 莖物の名

ゆき 和久波由伎 牛馬體 ○ 烏頭 ○ くはが川 保企を 文川

○ くはまゆ 和久波万 蝶 ○ く 桑板を

けふ 古今加 ○ くはは 多桑板を

○ くち 和久知奈波 蛇 ○ くち 右

○ 朽情の 義 ○ く 右本改改流 ○ く 右

○ ち 右本改改流 ○ く 右

○ く 右 ○ く 右

○ 紅 之れ赤者 呉藍 ○ く 右

○ く 右 ○ く 右

○ 和良 和良 ○ く 右

○ 位藏人の 字久乃乃伊 人參

○ く 右 ○ く 右



の名称 ○ くさばひ 源 孟津抄之種 のこころとま ① くさ

やう 著 公卿の ② くさばを 非 糸糸 組緒

③ くさばな 和久比部宗 犬 ④ 大柳 ⑤ くさばめ

後拾遺圖

又云

⑥ くさばい 和久利乃 以加 栗刺 ⑦ くさばか 糸

皇后の ○ くさばいん 古 廣言の 音 ⑧ くさばいん

和久古能布衣 征我 和久乃 於毛 小角 ○ くさばいれ 糸 扇 ⑨ くさばいれ

⑩ くさばいれ 和久乃 於毛 懷香 ○

これのい 糸 耕 ⑪ くさばいれ 和久乃 於毛 細子草 ⑫ く

⑬ くさばいれ 和久乃 於毛 ⑭ くさばいれ 和久乃 於毛

⑮ くさばいれ 和久乃 於毛 ⑯ くさばいれ 和久乃 於毛

⑰ くさばいれ 和久乃 於毛 ⑱ くさばいれ 和久乃 於毛

⑲ くさばいれ 和久乃 於毛 ⑳ くさばいれ 和久乃 於毛

㉑ くさばいれ 和久乃 於毛 ㉒ くさばいれ 和久乃 於毛

㉓ くさばいれ 和久乃 於毛 ㉔ くさばいれ 和久乃 於毛

㉕ くさばいれ 和久乃 於毛 ㉖ くさばいれ 和久乃 於毛

㉗ くさばいれ 和久乃 於毛 ㉘ くさばいれ 和久乃 於毛



② ころころ 万 釧着 列ハ古の 手錦 ○ ころ

はらひ 多 構を列す ⑦ ころおほひ 和久赤於 保比

車斗の 白々 務袂 ⑧ ころはし 万 久須波 奇を 之波 史より

六

⑨ ころわさ 源 紫之 蓋竹 多 ⑩ ころもら

し 源 曇るを 活 かしより

七

⑪ ころま 字 車乃 加 ⑬ ころ乃

⑫ ころ 波 知 ⑭ ころ 和

⑮ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

⑯ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

⑰ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

⑱ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

八

⑲ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

⑳ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫

九

㉑ ころ 和 久 屋 名 屋 係 字 之 虫







